

小外科って何？

外科とは違うの？

何を診る科なの？

一般的に「外科」は脳神経、心臓、呼吸器（肺）、消化器、骨や筋肉（整形外科）、腎臓や膀胱（泌尿器科）、婦人科系臓器などに分けて、それぞれの専門科で手術が行われています。

大まかに言って、それよりもっと身近な、主に体表の病気を局所麻酔で治療するのが「小外科」と言われる分野になります。

例えば、首・背中・腹部・手足にできてしまった**粉瘤（ふんりゅう）**、**アテローム**や**脂肪腫（皮下脂肪のかたまり）**、**イボ**や**ホクロ**、また指に食い込んで腫れてしまった**巻き爪**など、治したいけれど何科にかかったらいいのか分からない方が多いかもしれません。

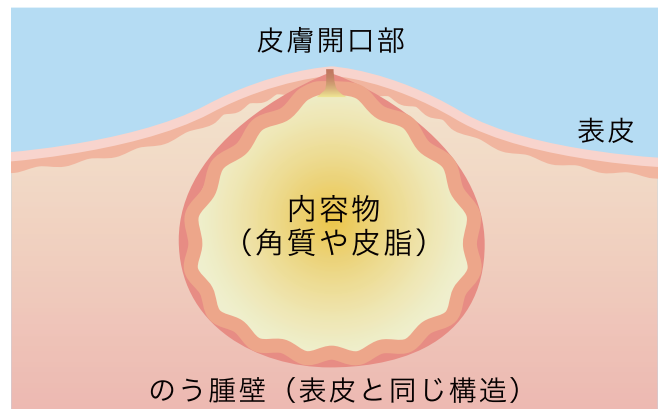
これらの疾患は皮膚科や一般外科で治療しているのですが、総合病院などの外来では気軽に手術できる体制が整っていない場合もあります。

当院ではこれらの手術を日帰りで行っています。局所麻酔を行い、レーザーメスまたは通常のメスを用いて切除します。手術時間は長くても30分以内で終わる場合がほとんどです。

最も頻度の高い粉瘤については、従来法よりも小さな切開で病変を取り出す「くり抜き法」を導入しています。傷跡が小さくなるよう工夫しています。

普段あまり困っていないけれど気になっていたりものがある方は、ぜひ相談にいらしてみてください。

粉瘤（アテローム）



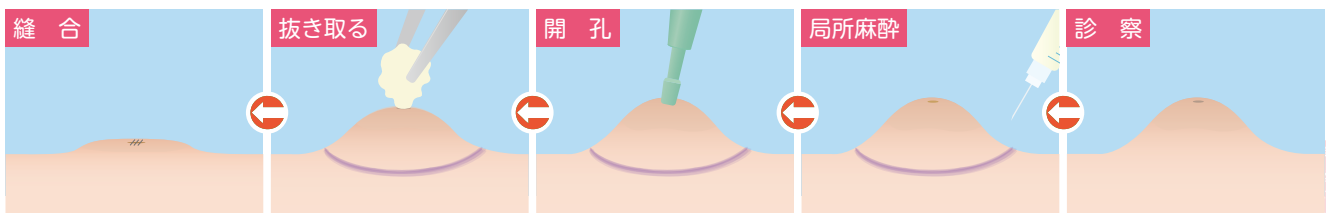
粉瘤とは

皮膚の良性腫瘍の1つでアテロームとも呼ばれています。皮膚良性腫瘍の80%程が粉瘤です。粉瘤は皮膚の下に小さな袋ができて、垢や皮脂などの老廃物が溜まったものです。

症状

初めは米粒大の小さな袋ですが、内部に脱落した角質、皮脂が溜まり、徐々に大きくなっていきます。粉瘤が細菌感染を起こすと痛みや腫れ、赤み、熱感といった症状が現れます。炎症感染を繰り返す場合もあり、ごく稀ですが癌になることもあります。

粉瘤の手術



内部に取り残しがないことを確認し、傷口を縫い合わせていきます。傷が完全にふさがるまで2～3週間程度かかります。

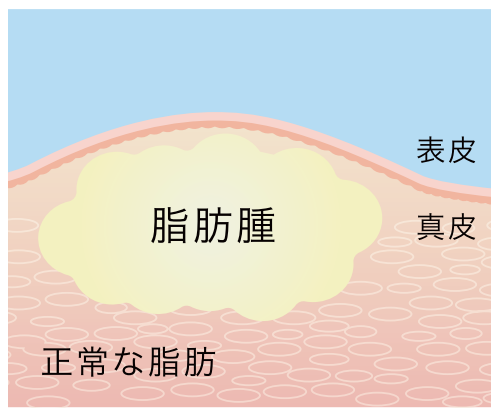
粉瘤の中に詰まっている内容物を丁寧に抜き取ります。

粉瘤の中央にメスで4mm程度の穴をあけます。

粉瘤の周りに印をして、局所麻酔を行います。

いぼ状のできものが粉瘤か腫瘍かを診察で確認します。「くりぬき法」が適応できる大きさや部位かを確認します。

脂肪腫（リポーマ）



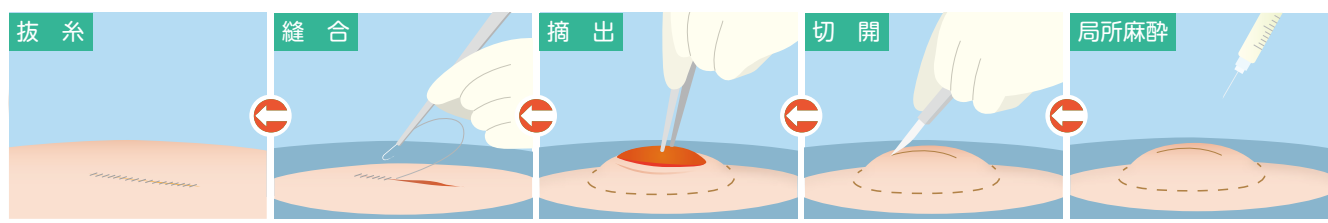
脂肪腫とは

脂肪腫（リポーマ）とは、いわゆる「脂肪のかたまり」で脂肪細胞から構成される良性の柔らかい腫瘍です。皮下に発生する軟部組織の中で最も多く見られる良性腫瘍で一般的なできません。

症状

皮膚がドーム状に盛り上がり柔らかいしこりとなります。通常痛みが起ることはほとんどありませんが、神経を圧迫する場所にできると痛むことがあります。皮膚との癒着はありません。ただし、手術で摘出しな限りは、自然に消滅することがないので、脂肪腫が増殖して大きくなるのを放置してしまうことで、ソフトボール大まで成長するケースもあります。

脂肪腫の手術



局所麻酔 脂肪腫の周りと切開部分に印をして、局所麻酔を行います。

切開 脂肪腫の直上の皮膚に切開を加えます。切開はできものの3分の2くらいの長さになります。

摘出 指とピンセットを使い優しく腫瘍を摘出します。

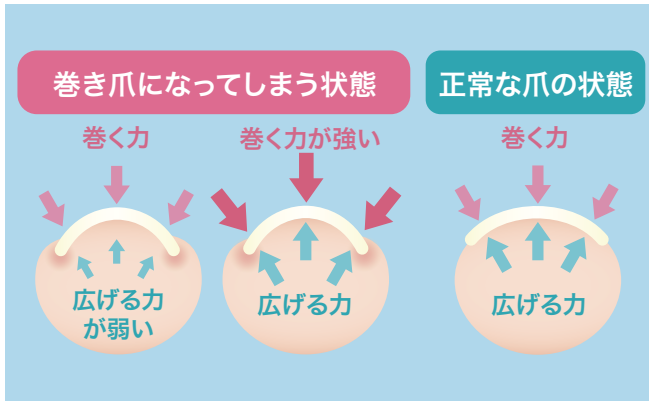
縫合 腫瘍を取り除いた部分は空洞になり血が溜まり易いので、しっかりと止血を行い縫合します。ガーゼと伸縮テープで圧迫固定して終了です。

抜糸 術後1週間から2週間経ってから抜糸を行います。

巻き爪（陥入爪）

巻き爪とは

爪の端が内側に巻き込んで痛くなる病気で、多くは足に起こります。巻き爪のある部分に痛みが起るだけでなく、姿勢や歩き方が悪くなるため、膝や腰の痛みの原因となり、特に高齢者の場合には転倒につながる危険もあります。



巻き爪の原因

爪はもともと「巻こうとする力」を持っていて、それに対して指側からの「広げようとする力」が均衡して正常な爪の状態が保たれています。

巻き爪の治療

巻こうとする力が強くなると（または、広げようとする力が弱くなると）巻き爪になってしまいます。

症状により抗真菌薬の塗り薬や飲み薬の治療、痛みを和らげる処置、爪棘切除などの手術を行います。

ホクロ、イボ

ホクロ、イボの治療

CO₂レーザーを使ったホクロ、イボの除去手術を行います。また、皮膚がんの鑑別、病理検査も行ってあります。

本院 小外科 診療時間

受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
10時～12時30分	○	休	○	○	○	○	○	休
16時～17時30分	○	休	○	○	○	○	休	休

(注) 日曜日の診療は第1・第3日曜日のみ